



出小だより

<http://izumo-es.izumozaki.ed.jp/>

出雲崎小学校たより No.2

E-mail izumo-es@izumozaki.ed.jp

令和2年5月18日

生命の安全と教育の保障と

校長 五十嵐 悟

5月14日朝のことです。1～3年生の子どもたちが登校してきました。臨時の班長さんが、1列で歩いてもらおうと1年生に一生懸命声をかけています。おうちの方が一緒に付き添ってくださっている班もあります。ありがたいことです。

新型コロナウイルス感染症への対応のため、4月27日から5月10日まで臨時休業となりました。5月11日から15日までは午前、午後に学年を分けての分散登校を実施しました。世界中の人達が同様の状況にあり、みんなが我慢しているのは承知していますが、「一体いつまで続くんだろう」と不安にかられることもあります。「なくなって分かる～」というフレーズではないですが、今回の件で改めて日々の学校が果たす役割と責任の大きさを感じています。

毎朝学校へ来て、先生や友だちと会い、勉強をして、遊んだり話したり時にはけんかをしたりして、家に帰る…このような毎日が繰り返されることで、子どもたちは大きく成長していきます。それは決して短時間で身に付くことではなく、毎日の積み重ねで少しずつ獲得していく力です。

例えば前述した、朝の登校です。1年生は、登校班のみみんなと一緒に登校するうちに、どれくらい歩けば学校に着くのかという見通しをもちます。その結果、我慢して学校まで歩くことができるようになり、いつの間にか歩くのが苦でなくなります。同様に班長に遅れないように歩くこと、1列に歩くこともできるようになります。逆に6年生は、1年生のスピードに合わせて歩くことが求められます。先



頭を歩いていて、ふと振り返ったら、後ろの子がついてきていない…こんな経験を繰り返すうちに1年生がついて来ているか何度も振り返って確認したり、ときには立ち止まって追いつくのを待ったりすることで、自分のことだけでなく、周りの人のことを考えて（つまり、周りの人も大切に）行動することができるようになってきます。「いつの間にか成長したなあ。いつの間にか大人になったなあ。」と感じる裏にはこのような日々の繰り返しによる経験の積み重ねが生きています。

今回のコロナ騒動で、前述したような貴重な学びの機会が失われていくことを危惧しています。もちろん、子どもの安心・安全は第一に考えなければなりません。同時に教育の保障も考えていかななくてはなりません。今週から通常の時間割に戻りますが、これからも感染の第2波、第3波が来る可能性も指摘されています。その際は、今まで行ってきた臨時休業、1学年のみの登校、午前午後に分けた分散登校など、その都度状況に応じて少しでも子どもたちに教育環境を提供できるよう工夫していきます。

いずれにしても、当たり前前の日常が早く戻り、学校が教育活動を当たり前前に続けていくことができる日が来ることを心の底から願っています。



分散登校の様子

5月11日（月）～15日（金）の間、午前（1～3年生）午後（4～6年生）の分散登校を実施しました。各学年を2クラスに分けて、隣の子と席を離して学習しました。給食は、手が食べ物に接触する機会を減らす特別の献立に変更し、職員総出で盛り付けを行いました。その時の様子をいくつか紹介します。



視聴覚室で机を離して学習



6年生は電子会議システムを使って2クラス同時学習にチャレンジ



職員が給食を配膳



保健室では、感染防止のための情報をお知らせ



の主な行事予定

【新型コロナウイルス感染症対応のため中止となったもの】

5日（金）・6日（土）小中連携挨拶運動

6日（土）オープンスクール・子育て講演会 →6日（土）は週休日となります。
8日（月）は授業日となります。

9日（火）・23日（火）ゲートボール練習

17日（水）出雲崎大祭・キッズウイーク →17日（水）は授業日となります。

※課外陸上練習、課外水泳練習は、親善大会が中止となったため行いません。

【感染の状況によって延期の可能性があるもの】

2日（火）避難訓練

3日（水）プール清掃

※クラブ活動

※全校朝会、児童朝会

☆生活や総合的な学習の時間の活動、校外学習等は、感染拡大の状況を見ながらその都度判断していきます。